

令和元年9月9日

伯耆町議会議長 幸本 元 様

町民と語る会 司会 大森英一

記録 乾 裕
森下 克彦

伯耆町議会報告及び意見交換会実施要綱第9条第1項の規定に基づき、下記のとおり概要を報告します。

記

町民と語る会 概要

日 時	令和元年8月23日(金) 19時30分～21時10分
場 所	伯耆町溝口公民館 大会議室
出席議員	幸本 元議長、永井欣也副議長、細田 栄議会運営委員長、勝部俊徳予算決算等常任委員長、渡部勇総務経済常任委員長、一橋信介教育民生常任委員長、長谷川 満議会広報常任委員長、大森英一議会改革調査特別委員長、幅田千富美議員、杉原良仁議員、杉本大介議員、乾 裕議員、森下克彦議員
欠席議員	なし
参加者数	13名 (男性11名・女性2名)
テ ー マ	町政に対する議会の対応等 議会に対するご意見

発 言 者	進行概要並びに主な発言及び回答の概要
大森委員長	開会挨拶
幸本 議長	主催者挨拶
	(参加議員自己紹介)
大森委員長 (進行説明)	町民と語る会の開催趣旨は、伯耆町議会基本条例の規定に基づき、議会活動の状況等についての説明責任を果たすとともに、住民と議会との意思の疎通の確保を図り、住民の意見を聴き、議会運営に資することを目的として、毎年1回以上開催する。 開催時間は、おおむね90分とする。

(要望の対応)	<p>議会は、執行機関ではないため、政策の要望や予算が伴う町行政に関する要望及び提言等は、全員協議会又は議会改革調査特別委員会でこれらを執行部に要望、提言すべき内容か決定の上、伯耆町長等に文書で報告する。</p> <p>執行機関等からの回答等は意見交換会の内容とともにその概要を伯耆町議会広報、伯耆町ホームページ等により公表する</p>
(進行上の注意)	<p>(1) 録音及び撮影の了解 記録の作成のため録音及び議会広報等に掲載するため写真撮影</p> <p>(2) 進行への協力 基本的な答弁者は所管委員長とする。</p>
(質疑・意見)	
参加者	議会にかかるマクロ的な話と地域の要望などミクロ的な話に分けて進行してはどうか。
大森委員長	具体的な内容を発言されたら良い。
参加者	大坂地区内に所在する空き家の蔵が倒壊した。危険家屋指定の話があったが、その後の動きがない。どうなっているのか。
幸本議長	相続人が外国居住で連絡が取れない状況。司法書士による処理にも時間を要していると聞いている。
参加者	執行部と連絡を取って対応してほしい。
参加者	自治会が負担もして、共同利用施設とした成功例を聞いている。
参加者	先般、成人式が行われたが、どれだけ地元に残るものか心配する。地元に残る環境整備が成されているか。
大森委員長	移住・定住対策及び子育て支援策等の手が打たれている。
参加者	<p>大坂地区内で、側溝へのフタ設置が進められており、感謝しているが、未整備部分が多く残っており大雨になると溢れて集落内に流れてくるので危険である。更なる整備をお願いしたい。</p> <p>また、除草剤散布費用の補助予算化はどうか。</p>
大森委員長	持ち帰って執行部と協議したい。
参加者	議員は、町内行事にも参加して、顔を見せてほしい。
幸本議長	町内行事には参加するよう促したい。
参加者	<p>出られる議員はよく出ていると思っているが。町内行事には、参加してほしい。</p> <p>女性が議会に出やすい環境を作ってほしい。</p> <p>旧日光小学校跡地利用計画について意見を出したが、決まらなかった。議会で意見を持っているのか。</p>
大森委員長	執行部は、地元の声を重視しているというスタンスである。

渡部委員長	旧日光小学校の跡地利用については、総務経済常任委員会で、県外の先進的な取り組みを視察し、本議会に報告、提案した経緯もあったが、執行部とのその後の進展には至らなかった。
参加者	同地は、ハザードマップで危険区域に指定されており宿泊施設としての利用は不可と聞いている。有効な利用案がない状況ではないか。
参加者	大坂地区は限界集落となるかもしれない。若者もいるが、結婚も難しい状況である。
渡部委員長	行政として、出会いの場のイベントへの後押しをしている。
参加者	あおり運転が問題となっているが対策は。
大森委員長	県がドライブレコーダー設置の助成事業を開始する。
参加者	町が呼び掛ける一斉清掃日を変更して実施しても良いものか。
参加者	状況により変更されて良いのでは。
参加者	議会と町民の間に距離を感じる。身近に感じる議会になってほしい。 議員活動が片手間のように感じられる。 議員定数を減らさないと決めたが、議会に対する熱が冷めた。 大平農免道および大平原地区内町道の両脇の樹木の枝が道路にかかり、大型車が蛇行して走ることにより、対向車が危険を感じる場面がある。対処してほしい。
細田委員長	議員選挙が無投票となることは良いこととは思っていない。選挙はやるべきである。 議員定数は、合併時の30数人から16人、14人と変更してきた。 定数削減については、去年の町民アンケートを踏まえ、しっかりと議論した中で「削減すべし」という意見もあったが、「削減したからと言って選挙になるとは限らない」という意見もあり、結果、現定数維持となった。 過去の議会の特色ある事例として、町内バスの運賃を100円からタクシー料金の半額程度に値上げするよう国土交通省から町に対して指導があり、値上げを行う議案が上程されたが否決した。 また、学校統廃合の調査費と審議会設置の予算案を否決したこともあった。 女性議員は、特に少ないのが現状である。女性のネットワークを活用して、是非議員に挑戦してほしい。 議会には予算付けの権限がなく、決定の機関でしかない。 本日、要望があったものは、持ち帰り執行部に伝えたい。
永井副議長	閉会挨拶

	(以上)
回答を持ち帰ったもの	<ol style="list-style-type: none">1. 大坂地区内の危険家屋のその後の対応。2. 大坂地区の側溝へのフタ設置3. 除草剤散布費用への補助4. 大平原地区の町道脇樹木の剪定